

授業科目 聴覚障害II

【担当教員名】 中 野 雄 一		対象学年	2	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 成人聴力検査の種類と目的、方法並びに成人聴覚の種類と特性、評価、訓練、指導について概説する。					
【学習目標】 講義内容を整理し、理解して、説明できるようにまとめる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	成人聴力検査の種類と概要				講義
2	純音聴力検査				講義
3	語音聴力検査：語音了解域知				講義
4	インピーダンス・オージオメトリー：ティンパノメトリー、				講義
5	閾値上検査：ABLBテスト、SISIテスト				講義
6	自記オージオメトリー				講義
7	聴性誘発反応：聴性脳幹反応、耳音響放射				講義
8	聴力検査のまとめ ― 難聴診断とその鑑別 ―				講義
	II成人聴覚障害				
9	成人聴覚障害の種類と特性：難聴分類				講義
10	聴覚障害の評価：不自由度、情報収集				講義
11	聴覚障害の訓練と指導：聴覚活用訓練、身体障害者福祉法				講義
12	聴覚補償と補聴器の概要				講義
13	補聴器装用検査：適応検査、適合検査				講義
14	人工内耳の概要				講義
15	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		聴覚検査の実際	日本聴覚医師会編	南山堂	2004・3,400円
その他の資料		言語聴覚士のための講義ノート			
【評価方法】 出席・学習状況(40%)と定期的試験(60%)から評価する。			【履修上の留意点】 常に学習ノートを整理し、まとめておく。		